

## 2 大豆

### (1) 国際的な大豆需給の概要

#### ○2008/09年度の大豆需給（予測）のポイント

大豆の供給面では、昨年度にとうもろこしへの作付転換により縮小した米国の作付けが、大豆価格の高騰やとうもろこしの連作障害への懸念などから拡大する見込みであり、世界の生産量も増加が見込まれている。

需要面では、中国、アルゼンチン等で搾油用需要を中心に拡大し、世界の消費量は増加が見込まれている。

期末在庫量については、生産量と消費量が均衡し前年度と同水準となるものの、消費量の増加から期末在庫率は前年より低下すると見込まれる。

#### 【生産量】

生産量は、インドで減少するものの、世界第1位の生産国で主要輸出国である米国の作付け拡大などから、世界全体では前年度より19.2百万トン増加（8.8%）し、237.4百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.4百万トン下方修正されており、国別にはアルゼンチン、インドが上方修正され、ブラジル、米国で下方修正された。

#### 【消費量】

消費量は、EU、インドで減少するものの、中国、アルゼンチン等で搾油需要を中心とした増加が見込まれ、世界全体では前年度より6.9百万トン増加（3.0%）し、237.9百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で変わらず、国別にはEU、米国が下方修正され、アルゼンチン、インド等が上方修正された。

#### 【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より0.9百万トン減少（▲1.2%）し、75.7百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国では米国で輸出量の減少が、ブラジルで増加が見込まれている。一方、輸入国では、貿易量の4割強を輸入する中国でさらに輸入量の増加が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.6百万トン下方修正されており、国別にはアルゼンチンの輸出量、中国の輸入量が上方修正され、ブラジルの輸出量、EU等の輸入量が下方修正された。

#### 【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量と消費量がほぼ均衡することから世界全体では前年度と同水準の49.3百万トンとなるものの、消費量が増加していることから期末在庫率は20.7%に低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.4百万トン上方修正されており、国別にはブラジル等が下方修正され、中国等が上方修正された。

表－1 世界の大豆需給

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
<b>生 産 量</b>	<b>236.6</b>	<b>218.2</b>	<b>237.4</b>	<b>▲ 0.4</b>	<b>8.8</b>
米国	86.8	70.4	80.9	▲ 0.7	15.0
ブラジル	59.0	61.0	62.5	▲ 1.5	2.5
アルゼンチン	48.8	46.5	49.5	1.5	6.5
中国	15.2	13.5	16.0	-	18.5
インド	7.7	9.3	9.1	0.4	▲ 2.2
パラグアイ	6.2	6.8	7.2	-	5.9
カナダ	3.5	2.7	3.1	-	13.3
<b>消 費 量</b>	<b>225.4</b>	<b>231.0</b>	<b>237.9</b>	<b>0.0</b>	<b>3.0</b>
うち搾油用	196.2	203.8	207.7	0.3	1.9
米国	53.2	51.4	53.9	▲ 0.4	4.8
中国	45.4	48.7	51.3	0.2	5.4
アルゼンチン	35.1	37.3	39.2	0.5	5.1
ブラジル	34.0	35.5	35.5	-	0.1
EU-27	16.1	15.4	14.4	▲ 0.6	▲ 6.3
インド	7.7	9.2	9.1	0.4	▲ 1.0
日本	4.3	4.3	4.3	-	0.0
<b>貿 易 量</b>	<b>71.2</b>	<b>76.6</b>	<b>75.7</b>	<b>▲ 0.6</b>	<b>▲ 1.2</b>
(輸出)					
米国	30.4	31.2	27.2	-	▲ 12.7
ブラジル	23.5	25.7	27.5	▲ 1.4	7.2
アルゼンチン	9.6	12.2	12.9	0.7	5.7
パラグアイ	4.2	4.4	4.6	-	4.9
カナダ	1.7	1.7	1.6	-	▲ 5.8
(輸入)					
中国	28.7	35.4	36.0	0.5	1.7
EU-27	15.3	14.5	13.7	▲ 0.5	▲ 5.9
日本	4.1	4.1	4.1	-	0.0
メキシコ	3.9	3.8	3.6	-	▲ 2.9
アルゼンチン	2.0	2.6	2.7	-	3.9
台湾	2.4	2.3	2.3	▲ 0.1	2.2
タイ	1.5	1.6	1.7	-	3.1
<b>期末在庫量</b>	<b>62.5</b>	<b>49.3</b>	<b>49.3</b>	<b>0.4</b>	<b>0.1</b>
アルゼンチン	22.6	22.1	22.2	0.2	0.1
ブラジル	18.3	18.3	18.0	▲ 0.6	▲ 1.9
米国	15.6	3.7	3.7	▲ 0.1	0.3
中国	2.7	2.6	2.9	1.0	12.9
EU-27	1.1	0.9	0.8	▲ 0.1	▲ 15.6
<b>期末在庫率</b>	<b>27.7%</b>	<b>21.3%</b>	<b>20.7%</b>	<b>0.2</b>	<b>▲ 0.6</b>

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」

## (2) 大豆の主要生産・輸出国等の需給状況

### ア 米国

#### 【需給状況】

米国の生産量は、主産地である中西部での天候不順や洪水による生育の遅れが見られるものの、昨年度に大幅に縮小した作付けが大豆価格の高騰やとうもろこしの連作障害への懸念などから拡大する見込であり、前年度より10.5百万トン増加（15.0%）し、80.9百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用の消費は減少するものの、他の分野での消費量の増加が見込まれることから前年度より2.5百万トン増加（4.8%）し、53.9百万トンとなる見込みである。

輸量は、生産量は増加するものの在庫水準が低下していることやブラジルの輸量増加などから、4.0百万トン減少（▲12.7%）し、27.2百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は前年度と同水準の3.7百万トンとなり、期末在庫率も前年度と同水準の4.5%と引き続き低水準となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生育の遅れなどによる単収の下方修正から生産量が0.7百万トン下方修正され、搾油用の消費量も0.4百万トン下方修正された。また、輸入量及び期末在庫量も0.1百万トンそれぞれ下方修正された。

#### 【生育進捗状況及び作柄】

米国の大豆の主要18州の生育進捗状況については、97%が開花を終えて88%が着さや期を迎えたが、天候不順による作付けの遅れなどで生育は遅れており、着さや率は過去5年の平均に比べ6ポイント（前年に比べ7ポイント）ほど進捗が遅れている。生育の遅れから、秋早霜などに遭う天候リスクなど、中西部などの今後の天候に注視が必要である。

作柄については、優良が14%と前年度の同時期や最終と同じであり、優良～普通までの合計では88%と前年度の最終の83%を上回っている。

なお、主要産地の中西部では、6月上旬の低気圧と前線の影響で大規模な洪水が発生し、ほ場の冠水などの作物被害をもたらしたものの、7月からは、大豆にとって望ましい天候で推移しており、大豆の収量を減退させる大豆さび菌の発生状況については、前年同期の半分程度にとどまっていると見られている。

我が国の輸入先国シェア 1位（2007年数量ベース79.9%）  
世界の生産量シェア 1位（2008/09年度34.1%）  
輸量シェア 2位（2008/09年度36.0%）

表－2 米国の大豆需給（市場年度：9月～翌年8月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	86.8	70.4	80.9	▲ 0.7	15.0
消費量	53.2	51.4	53.9	▲ 0.4	4.8
うち搾油用	49.2	49.8	49.4	▲ 0.4	▲ 0.8
輸 出 量	30.4	31.2	27.2	-	▲ 12.7
輸 入 量	0.3	0.3	0.2	▲ 0.1	▲ 18.5
期末在庫量	15.6	3.7	3.7	▲ 0.1	0.3
期末在庫率	18.7%	4.5%	4.5%	▲ 0.2	0.0

(参考)  
収穫面積(百万ha) 30.19 25.42 29.68 0.49 16.8  
単収(t/ha) 2.87 2.77 2.73 ▲ 0.07 ▲ 1.4  
資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」

#### ○ 米国大豆の生育進捗状況及び作柄（8月24日現在）

##### 〔生育進捗状況〕

開花率 97%（平年差：▲ 2 p、前年差：▲ 2 p）  
着さや率 88%（平年差：▲ 6 p、前年差：▲ 7 p）

##### 〔作柄〕

		単位：%				
		優良	良	普通	不良	極不良
大豆	2008/09	14	47	27	9	3
	前年度同時期	14	41	28	11	6
	前年度最終	14	43	26	11	6

注：優良-Excellent、良-Good、普通-Fair、不良-Poor、極不良-Very Poor

資料：USDA「Crop Progress」

注：生育進捗状況の（ ）内は前年同時期及び同時期の平年値（過去5年）との比較である。

## イ ブラジル

### 【需給状況】

ブラジルの生産量は、リアル高や厳しい経営が続いているが、価格高騰による作付け拡大などから前年度より1.5百万トン増加（2.5%）し、62.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度と同水準の35.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の増加に伴い前年度より1.8百万トン増加（7.2%）し、27.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.3百万トン減少（▲1.9%）し、18.0百万トンとなり期末在庫率も28.6%（1.4ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、大豆の最近の国際価格の低下を反映した収穫面積の下方修正から生産量が1.5百万トン下方修正され、輸出量が1.4百万トン下方修正された。加えて、2007/08年度の輸出量の上方修正による2008/09年度の期首在庫の下方修正から期末在庫量も0.6百万トン下方修正された。

### 【生育進捗状況及び作柄】

ブラジルの大豆の作付けは、10月下旬頃から始まる。

なお、2007/08年度は、一部地域でラニーニャ現象による降水量の減少や大豆さび病の発生等があったが、生産には大きな影響を及ぼさなかった。

## ウ カナダ

### 【需給状況】

カナダの生産量は、昨年度に低下した単収が上昇する見込みであることから、前年度より0.4百万トン増加（13.3%）し、3.1百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度と同水準の1.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量が回復するものの在庫水準が低水準にあることなどから0.1百万トン減少（▲5.8%）し、1.6百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年と同水準の0.2百万トンとなり、期末在庫率は6.4%（1.7ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

### 【生育進捗状況及び作柄】

カナダの大豆は成熟期に入っており、平年より2週間程度遅れている。8月に早霜に遭うと、さやに豆が入らなかったり、収量が低下するおそれがあるので、今後の天候に注視が必要である。

我が国の輸入先国シェア 2位（2007年数量ベース 8.8%）  
世界の生産量シェア 2位（2008/09年度26.3%）  
輸出量シェア 1位（2008/09年度36.3%）

表-3 ブラジルの大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	59.0	61.0	62.5 (62.9)	▲ 1.5	2.5
消費量	34.0	35.5	35.5	-	0.1
うち搾油用	31.1	32.5	32.5	-	0.0
輸 出 量	23.5	25.7	27.5	▲ 1.4	7.2
輸 入 量	0.1	0.2	0.2	-	6.7
期末在庫量	18.3	18.3	18.0 (22.9)	▲ 0.6	▲ 1.9
期末在庫率	31.8%	30.0%	28.6%	▲ 0.3	▲ 1.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	20.70	21.30	22.00 (22.20)	▲ 0.50	3.3
単収(t/ha)	2.85	2.86	2.84 (2.83)	-	▲ 0.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (July 2008)」

我が国の輸入先国シェア 3位（2007年数量ベース 7.4%）  
世界の生産量シェア 7位（2008/09年度 1.3%）  
輸出量シェア 5位（2008/09年度 2.1%）

表-4 カナダの大豆需給（市場年度：8月～翌年7月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	3.5	2.7	3.1 (3.0)	-	13.3
消費量	1.9	1.7	1.7 (1.8)	-	1.9
うち搾油用	1.5	1.4	1.5	-	6.4
輸 出 量	1.7	1.7	1.6 (1.7)	-	▲ 5.8
輸 入 量	0.2	0.2	0.4 (0.5)	-	66.7
期末在庫量	0.7	0.2	0.2 (0.1)	-	34.2
期末在庫率	18.4%	4.7%	6.4% (3.6%)	-	1.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.20	1.17	1.21 (1.20)	-	3.4
単収(t/ha)	2.88	2.31	2.53 (2.53)	-	9.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
AAFC「Pulse and Special Crops Outlook (August 1, 2008)」

## エ 中国

### 【需給状況】

中国の生産量は、北東部の作付け面積の増加と昨年度干ばつにより低下した単収の回復が見込まれることから、前年度より2.5百万トン増加（18.5%）し、16.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要の増加等から前年度より2.6百万トン増加（5.4%）し、51.3百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年と同水準の0.4百万トンとなる見込みである。一方、輸入量は搾油用需要の増加に伴い0.6百万トン増加（1.7%）し、36.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より0.3百万トン増加（12.9%）し、2.9百万トンとなり、期末在庫率も輸入量の増加により期末在庫量が積み増しされることから、5.6%（0.4ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、搾油用の消費量が0.2百万トン、輸入量が0.5百万トン上方修正された。加えて2007/08年度の輸入量の上方修正による2008/09年度の期首在庫の上方修正から期末在庫量も1.0百万トン上方修正された。

### 【生育進捗状況及び作柄】

中国北東部の主要産地では、8月初旬に適度の降水量に恵まれ、大豆の生育は順調に推移している。

### 【貿易情報】

中国については、増値税の輸出還付を取消し、輸出税を課している。

## オ アルゼンチン

### 【需給状況】

アルゼンチンの生産量は、価格高騰による作付け拡大などから前年度より3.0百万トン増加（6.5%）し、49.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要の増加から前年度より1.9百万トン増加（5.1%）し、39.2百万トンとなる見込みである。

輸出量は、中国の輸入量の増加により、0.7百万トン増加（5.7%）し、12.9百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年と同水準の22.2百万トンとなり期末在庫率も42.5%（2.2ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量が1.5百万トン、消費量が0.5百万トン、輸出量が0.7百万トン、期末在庫量が0.2百万トンそれぞれ上方修正された。

### 【生育進捗状況及び作柄】

アルゼンチンの大豆の作付けは、11月頃から始まる。

なお、昨年度（2007/08年度）の収穫は終了しており、開花期の天候不順で生産量は前々年度を下回った。

### 【貿易情報】

輸出税に関する新たな制度の導入を巡り農牧団体等がストライキを実施。その後、同制度の関連法案は廃案となった。なお、現在も従前の輸出税は賦課されている。

我が国の輸入先国シェア4位（2007年数量ベース 3.3%）  
世界の生産量シェア 4位（2008/09年度 6.7%）  
輸入量シェア 1位（2008/09年度47.6%）

表－5 中国の大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	15.2	13.5	16.0 (16.4)	-	18.5
消費量	45.4	48.7	51.3	0.2	5.4
うち搾油用	35.5	38.6	41.0	0.2	6.3
輸 出 量	0.5	0.4	0.4	0.0	14.3
輸 入 量	28.7	35.4	36.0	0.5	1.7
期末在庫量	2.7	2.6	2.9	1.0	12.9
期末在庫率	5.8%	5.2%	5.6%	2.0	0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	9.10	8.70	9.40 (9.35)	-	8.0
単収(t/ha)	1.67	1.55	1.70 (1.75)	-	9.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (July 2008)」

世界の生産量シェア 3位（2008/09年度20.9%）  
輸出量シェア 3位（2008/09年度17.0%）

表－6 アルゼンチンの大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	48.8	46.5	49.5 (50.4)	1.5	6.5
消費量	35.1	37.3	39.2	0.5	5.1
うち搾油用	33.6	35.8	37.7	0.5	5.3
輸 出 量	9.6	12.2	12.9	0.7	5.7
輸 入 量	2.0	2.6	2.7	-	3.9
期末在庫量	22.6	22.1	22.2 (27.0)	0.2	0.0
期末在庫率	50.6%	44.7%	42.5%	▲ 0.6	▲ 2.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	16.30	16.37	17.70 (17.50)	0.60	8.1
単収(t/ha)	2.99	2.84	2.80 (2.88)	▲ 0.01	▲ 1.4

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (July 2008)」